

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

杖つきてわが行く道は遠からん 一步一步をかみしめ進む
雨降りて一人眺めて居る窓に出入りの燕巢作りならん
眠らんと閉ぢる瞼に雷の光りがささる梅雨戻る宵
どくだみの花白々と咲く庭を歩む小鳥の黄なる嘴
テーブルを十人で囲みし昔しのび今はサラダをひとり食ふ夜

浜田美代子
岩下 江
米尾 和子
坂之下典子
中山タマエ

一般作品

浮雲は親の姿に見えもしてまだまだキバレそげん聞こゆる
あれ程に元氣姿の義母も今この世になきと思えば涙す
雨降りて暑さやわらぐこの夕べ思いひとときもてあましてる
しずしずしと夜半前に昇りゆく居待月黄金の欠けゆくを見送る
早い事自分知るのだ間違はず人を頼らず自分なすのだ
ゴウゴウと落ちゆく滝を見下ろせばわが身のふわり曾木の空へと
毎年の我が家で作るあく巻は昔の味よ手前味噌かな

小林 貢
小林 如月
中飯屋辰子
後藤ヨシエ
町田 末則
母木 良平
川島輝文

長島の

歌人集まる

広場あり

明神俳句会

入梅や沖の漁り火消えやらす
梅雨に入る古漬樽を晒しけり
六月や潮の膨るる黒之瀬戸
青鷺の歩にてらてらと水応ふ
大海月気ままに浮いて舟溜り
青鷺の止まる筏や水揚げ場

淵 脇 護
二階堂妙子
山寄加代子
迫口 君代
大堂 正弘
関佳代美

父の香の麻のスーツや同窓会
青鷺や田の面へ風を呼びもどす
磨崖仏また来て出会ふほう螢
朝涼の畑に農夫の笠揺れて
警笛の遠くに聞こゆ梅雨の海

白男川孝仁
二階堂恵子
大堂 早苗
関喜久雄
坂口 静子

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介



103 歳、名言だらけ

著／石井哲代・中国新聞社

自分の心に言い聞かせている言葉を紹介します。



新紙幣完全ガイド

著／晋遊舎

20年ぶりとなる新紙幣発行。肖像に選ばれた理由から、最新の技術までまるわかり。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-5651

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1121